

とも対流雲を操船上の指標として眺めていたはずである。

しかし、絵画の世界に Cb, Cu という孤立対流雲のきめ細かい表現が現れてきたのは江戸後期の19世紀後半であり、とくに海外（西欧）の影響が多かれ少なかれあるとなれば、ただ目に入っていた段階を経て、美と善と自然観賞・観察が総合的に一体となっている絵画まで及ぶには随分時間が必要であったということになる。Gedzelman (1989) も述べているように、文様としては 3000 BC からエジプトの壁画には Cu の絵が残っているが、西暦15世紀から17世紀までの絵画（たとえば、Eyck, 1435 から Ruisdael, 1670 まで）を見ると Cb, Cu などの描き方も当時の思想や宗教に随分影響されている。日本においては、西欧の影響と日本古代からの伝統との間で日本化という独特の歴史をたどっただけに、この長時間を要したリアリズムの描写は当然のことと思われる。

いずれにしても、雲形を見る目を考えてもこのように多くの要因が長年月にわたって影響し合うことを思うと、ものを見る目の変遷には興味多いものである。

おわりに、今回の日本の絵画中の雲描写の研究については、とくに雲形の評価問題に関して、久米美術館研究員及参事の高田誠二氏（北大名誉教授）および伊藤史湖学芸員に多大のお世話になった。ここに厚く御礼を申し上げたい。

#### 【教育と普及委員会】

気象談話室のためにこの原稿を書いて頂き印刷の完成を前にしてお元気だった内田さんが急逝されたことは信じがたい事です。今となっては遺稿となったこの原稿作成に多少とも係わった者として、悲しいことですが、長年の好奇心とご趣味を生かして独創的な興味深い読み物を我々に残して下さい内田さんに心から感謝とご冥福をお祈り申し上げます。

#### 【編集委員会】

著者の元気象庁長官内田英治氏は10月11日沼津市にて急逝されました。なお、本稿は9月20日に受理したものです。

### 日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
熱帯低気圧の進路予想に関する国際会議	1994年1月17日 ～21日	気象庁	気象庁第一会議室 (千代田区)	気象庁数値予報課 岩崎 俊樹 Tel. 03-3212-8341
月例会 レーダー気象	1994年1月21日	気象庁	気象庁 (千代田区)	気象研究所 台風研究部 榎原 均
第20回 気候影響・利用研究会	1994年3月1日	気候影響・利用研究会	気象庁第一会議室 (千代田区)	国立環境研究所 増田 啓子 Tel. 0298-51-6111
温室効果気体に関する国際会議	1994年3月7日 ～10日	東北大学	仙台国際会議場 (仙台市)	東北大学理学部 中澤 高清 Tel. 022-222-1800
1994年地球惑星科学関連合同大会	1994年3月20日 ～23日	地球惑星科学関連学会	東北大学川内キャンパス (仙台市)	東北大学地震予知・噴火予知観測センター Tel. 022-225-1950
日本気象学会 1994年度春季大会	1994年5月24日 ～26日	日本気象学会	御茶の水スクエア (旧主婦の友会館) (千代田区)	